



いい人、いい仕事
未来を見つめ、人とともに育つ
住みよい環境創りのため社会に奉仕する

株式会社 高浄
発行元: 本社広報部
編集長: 西岡親平



《 綱領 》

我々、株式会社高浄社員は”住みよい環境創りの為、社会に奉仕する”ことを信条に努力しよう。

一食一元運動

5月末での繰り越し残高
3,909,374円
6月末での徴収金額
64,260円
合計残高
3,973,634円
ご協力誠にありがとう

《 品質方針 》

私達は、お客様満足を第一と考え、心のこもったサービスと技術及び安心で快適な住みよい環境を提供します。

《44期重点取り組み事項》

- プラス発言
- 状況の共有
- チームワーク
- 感謝



高浄ホームページ

<http://www.takajyo.co.jp> アクセスしてね

社長メッセージ「弱い自分を表現してみる…」

いつも「タカジョウ」を応援いただきありがとうございます。7月に入り、すっかり夏らしく暑い日が続いていますが、節電をしながら快適に過ごしたいものです。

さて、「左鎖骨折してしまいました。」とメッセージに書いたところ、お会いする人達やメッセージで「大丈夫？ お大事に！」と声をかけて頂いています。本当にありがとうございます。お陰さまで固定装具は外す事ができ、毎日、自分自身でリハビリしながら仕事をしています。

私自身、今回の骨折で、家族や会社の仲間達に今まで以上に、弱い自分を表現できるようになったかもしれません。

「〇〇ができなくて、悲しい。」

「すごく大変だから、〇〇を手伝って欲しい。」

「〇〇を頼みます。」

すると、気持ちがスーと楽になると同時に、まわりのみんなが助けてくれます。今の社会では、特に仕事においては、悩みがあったり、落ち込んだり、誰かに助けて欲しい時も、あまり弱い自分を表現する事は良くないという暗黙のルールがあるように思います。けれども、人はずっとポジティブでいられるわけではありません。自分の思いが相手に伝わらなかったり、思ってる様に物事が進まない、

イライラしたり、悲しくなったりネガティブな気持ちになるものです。

今までポジティブで頑張ってきた人達は、自分自身の弱さとながれられない分だけ、何かそれを感じる出来事がない限り、「手伝って欲しい。助けて欲しい。」などといった事を言えないのかもしれませんが。

私の怪我のように(笑)

でも、少し「泣き言」を言ってみると、自分自身がふだんから無理をしていた事に気がつきます。まわりの沢山の人が助けてくれる事に感動するかもしれません。そして、助けてもらえないのではなく、自分で何でもやろうとして、ちゃんと、助けて欲しい！と言ってなかったんだ！という事に、沢山の素晴らしい人達に囲まれて、支えられている事に改めて、気がつく事ができると思います。

日常生活の中で、仕事の中で、時には、「泣き言」を言ってみるのも良いかもしれません。

毎日の中で、タカジョウの仲間達とまわりの人達と支えあい、感謝の気持ちで、今月も努力していきたいと思いました。

代表取締役 長井正樹

去る6月8日に、第43期の振り返りと44期に向けての勉強会が開催されました そして、松田顧問が43期を持って、現役顧問を退任される こととなりましたので、ご挨拶を申し上げます



在職中は皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

タカジョウ43期を節目にいたし、5月31日を持ちまして現役顧問を退任させていただくことといたしました。

6月8日(金)には高浄振り返り勉強会がありました。

大津市の緑水亭で各チームの発表会にも参加させていただき、ここの所毎年であります、今期はどんなチームを目指すか？力強く自分達で考えたそれぞれの発表内容は高浄の飛躍を印象づけるものでした。

私にとりまして、引退の花束記念品、皆様からのお別れCDメッセージをいただき、感動の涙が溢れました。私は幸せ者です！ありがとう！！

こうして在任中は長きに渡り、無事勤めさせていただき晴れやかな心でこの日を迎えられましたのも、皆様のご協力とご支援の賜と心から感謝申し上げる次第でございます。

勤務は13年と2ヶ月、私にとっては長いようでもあり、過ぎた合を思えば短いような気持ちで皆さんとかかわったお一人、おひとりの事が思い出されます。

高浄入社のお世話になる前職は、三井物産関連会社としてメンズアパレル製品の製造販売する(株)ジョンストンでの営業企画や、工場長を務めていましたが、平成10年に会社が閉鎖となりました。その後暫くして高浄のご縁をいただく事となりました。

年の瀬に他界されました相談役「長井 武」様に面談いただき、平成11年4月より高浄への入社となりました。相談役との出会いは印象的でした。はじめて自主出版されていた「一度きりの人生」を一冊読んでみますか？と渡され、今では大切な「座右の銘」として書棚にあります。

その相談役も逝去され、平成24年2月14日たかつき京都ホテルに於いての「お別れの会」。あの笑顔とメッセージ

“一度きりの人生”

世のため、人のために役立つよう努力しております。
この世に生かされている喜びを今日精一杯努力することが私の努めです。
私に出来ることがあれば、せいぜい使って下さい。

「私に出来ることがあれば、せいぜい使って下さい。」は、私の大好きな言葉です。

以前に「たかじょう通信」に書かせていただきました、古代インドでは人生を四つの期に分けるといふ、考え方があります

- 学生期 (0～25歳頃) この世に生まれいでて、愛情を受け育てられ、人として学業に励む。
- 家住期 (26～50歳頃) 社会人として自己を磨き、目標を定め、人の道を拓く。
- 林住期 (51～70歳頃) 人生の後半を生きていく上で家族を育み、林の中に住むがごとく自分にとって大切な人生観が持てる。いわゆる隠居の心。遊びの達人になる。

それぞれの節目で環境にも恵まれ、自己形成されていく自分の夢。身近になった目標を達成した時に感謝であったり、幸せ感があふれるのではないのでしょうか。

会社の発展は社員を幸せにします。働きやすい職場で環境はきれいに。一生懸命な人・やる気の上がる人たちがチームが盛り上がり、次なる開発商品を用意していく柔軟な発想で、与えられた条件が厳しくとも、当たり前の事として受け入れられ、越えていく集合体になってほしいと思います。そしてお客様に喜ばれる、感謝される会社にどんどん成長してください。

私自身も、今までにお世話になったたくさんの方々に感謝のご挨拶をいたすのが本意と思いますが、ここに「たかじょう通信」でご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました！！

松田 俊久

6/1～6/30まで

クレーム発生件数
2件労働災害発生件数
2件交通事故発生件数
0件

高槻市A様宅にて
【クレーム内容】 庭の剪定に予約の時間になっても来ないとのこと。

【高浄の対応】 職人さんと連絡を取ると忘れていたとのこと。夕方からの作業に変更していただく

【クレーム内容】 某ガソリンスタンド様にて担当の宿直員がこないと連絡があった。

第43回市民フェスタ「高槻まつり」

届け！！いのちの鼓動！ 高槻まつりから陸前高田へつなぐ太鼓の絆

震災から太鼓の文化を守るべく、今年も高槻まつりは、岩手県陸前高田市の太鼓集団「氷上共鳴会」への支援を行います

岩手県陸前高田市は、東日本大震災の津波で市の約8割が壊滅状態となる甚大な被害を受けた。太鼓を中心とした“まちおこし”イベントの地元再開はおろか震災からの復旧もまだ目途がたっていない。氷上太鼓のメンバーの小野寺麻貴さんは震災後すぐ全国の太鼓団体にメールを送りました。「町は揉みくちやになり山のみもとにある私の家のみ込まれた(中略)津波の翌日に口にした炊き出しの塩おにぎりがこんなに温かくて…温かくて…食べる前に胸がいっぱいになり涙がでました」とその時の状況が寄せられ、「復興のため生き残ったと信じてこの場所にいます。だからまた…その日まで皆さんへお願いします。太鼓や芸能頑張ってください！そしてその元気な命の鼓動を私たちにください」とあった。

昨年3月21日、自粛ムードが漂うなか「たかつき芸能フェスティバル」が行われた。約1500人の前で高槻太鼓会長の黒敷さんは小野寺さんのメールを読み上げ「自粛ではなく命の鼓動と鎮魂の気持ちを伝えよう」と話した。会場は水を打ったように静まり、その後に挨拶する環境協会会長の柿原さん(前高槻まつり振興会会長)も言葉を詰まらせ、「高槻の元気を陸前高田へ」と太鼓の演奏がはじまり、「想い届け」と激しく打ち鳴らされた。「何かできることはないだろうか」と、昨年の高槻まつり実行委員会の場でそんな声が上がリ、高槻まつりをあげて大太鼓や衣装、義捐金を送ることが全員一致で決まり、この支援の取り組みがはじまった。

昨年10月、高槻太鼓と高槻まつりが陸前高田市に訪問し、高槻まつりの義捐金を募る活動を行い、高槻太鼓が所有する大太鼓1張りと衣装25着を寄贈した。

氷上共鳴会は震災で会員7名が亡くなり、10人以上の自宅が流された。そんな中で会員たちは練習を続けていた。氷上共鳴会の鈴木武幸会長は「立派な衣装を頂き、涙が出るくらいうれしい」と感謝の言葉を述べた。

柿原前会長は「震災後の自粛ムードで困惑するなか、氷上共鳴会の小野寺さんのメールで、高槻から元気を送ろうという気持ちになりました。今後も交流を深めていきたい」と語った。「氷上太鼓の元気な演奏で、陸前高田のみんなも元気になっていくはず」と黒敷会長もエールを送り、大太鼓を打ち鳴らし贈呈式を締めた。その後、氷上太鼓と高槻太鼓がセッションし、喜びを分かちあうように太鼓を激しく打ち鳴らし、セレモニーは感動のなか終了した。

今年も高槻まつりでは中川会長をはじめ、実行委員会から「この絆を育み、支援の輪を広げたい」という声があがり、さまざまな企画が立ちあがった。1つは高槻まつりに氷上共鳴会を招き、氷上太鼓の元気な音を響かせ、復興支援の輪を広げてもらうというもの。さらに、高槻市とともにブースを設け、復興支援グッズの販売を行い、経済支援を行う。また、中川会長、松本実行委員長らの直談判と、市の全面支援により、(戸羽 太)陸前高田市長を招き、防災講演会開催の運びとなった。

高槻まつり当日には、高槻太鼓と氷上共鳴会のセッションが行われる予定。曲目の1つに陸前高田市の伝統の祭り「七夕祭りばやし」がある。高槻まつりに向けて「衣装や太鼓をいただいたお礼」にと氷上共鳴会から高槻太鼓へ笛のプレゼントをするという。この笛でのセッションも見どころだ。

8月4日(土)・5日(日)

桃園小学校グラウンド

けやき大通り・みずき通り(雨天中止)



<迎え盆・送り盆>

8月13日の夕方か夜に菩提寺とお墓に参り、祖先の霊を迎えます。これを[精霊迎え]と言います。この時に霊が迷わず帰ってこられるように焚くのが[迎え火]です。地方によってはお墓からの道筋に、たくさんの松明を灯す所もあります。そして、17日は送り盆です。この日に、お盆の間一緒にすごした祖先の霊を送り出すことを[精霊送り]と言います。この時に[送り火]を焚くことも広く行われています。京都の[大文字焼き]も送り火の一つなのです。

<盆踊りの意味>

盆踊りの由来としては釈迦の弟子の一人、目連尊者の故事があり、目連は餓鬼道に堕ちた母親を救うために7月12日のお盆に祈禱を行いました。その結果、母親が救われその喜びのあまり踊ったのが盆踊りの由来になっているようです。

元来盆踊りは、戻ってきた精霊を慰め、送り出すために催されてきました。また、戻ってきた霊が供養のおかげで成仏できた喜びを踊りで表す、と伝えられている地方もあります。私たちが、祖先に感謝し生きていることの喜びを表現するために踊ると考えてもよいでしょう。



夏に負けるな!!スタミナカレー特集



骨付きもも肉のチキンカレー

骨付きのもも肉だから見た目もインパクトも大きいカレーがメイン!市販のナンを使えば手軽に本格的な味が楽しめますね。

ジャンル：エスニック料理 / カレー



シーフードのミルキーカレーライス

牛乳が入ったマイルドなカレー。小さなお子様でも食べやすい味に。

ジャンル：洋食 / カレー

調理時間：20分 カロリー：353 Kcal



タラのカレースープ

魚、野菜、豆腐…。バランスよくたっぷりの具が入ったスープです。みそを少し加えるのがポイント。

ジャンル：エスニック料理 / スープ